

川崎市視覚障害者情報文化センター 2021 年度事業計画

川崎市内の視覚障害者のQOL(生活の質)の向上を目指し、市内全域にサービスを展開する。

重点項目

- (1) 川崎市のガイドラインに準拠した感染予防対策を実施し、利用者が安心して来所できるようにする。また、人が集まるセミナーやイベントを開催する際は、特に注意を払う。
- (2) 相談・訓練については、ここ数年、長期的な訓練よりも短期的な相談ニーズが強い。そのニーズに合わせてスポット的な要望に積極的に応えていく。また、市内全域にスピード感を持って対応できるよう努める。
- (3) 見えづらくなった人が早期にセンターとつながるよう、市内眼科医、障害者相談支援センターなどの地域資源との連携を図る。
- (4) 図書館事業、訓練事業、用具事業を合わせてもつ強みを活かしたサービスを行う。
- (5) 利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた資料製作、資料提供を行なう。
- (6) ボランティアの養成に努め、質の高い資料製作・音声ガイドの製作を進める。
- (7) 音声ガイド付きDVD 映画体験上映会、ヨガ教室、れきおんクラブ、読書会、コンサートなどの文化的イベントを開催する。
- (8) 読書バリアフリー法施行に伴う公共図書館の障害者サービス推進の動きに積極的に協力する。
- (9) 災害に備え飲料水や食料を計画的に備蓄するなど、防災・減災の対策を進める。

計画

- (1) 資料の閲覧・貸出
 - ① 約 800 人(個人・団体)の利用登録者に対し、点字図書は年間 300 タイトル、録音図書はシネマ・デイジーを含め年間 9,920 タイトルの提供を目指す。
 - ② ダウンロードサービスにより点字・録音合わせて年間約 3,000 タイトルの提供を目指す。
 - ③ 点字雑誌は年間 250 タイトル、録音雑誌は年間 4,300 タイトルを提供し、総貸出数 17,790 件を提供する。
- (2) 資料製作
 - ① 利用者の趣向に加え、川崎らしさの視点を加えた図書選定を行い、点字図書は年間 40 タイトル、録音図書は年間 100 タイトルの製作をする。また、テキストデイジー図書 10 タイトルの製作を行う。
 - ② 視覚障害者が映画を楽しむことができるシネマ・デイジーを 30 タイトル製作する。
- (3) 点訳者・音訳者・音声ガイド製作者の養成

- ① 2021年度は、昨年度新型コロナ感染拡大により実施できなかった音訳者養成講座を実施する。また、活動中の音訳者・点訳者・点訳校正者を対象としたスキルアップのための研修会・相談会を開催する。
 - ② 映画の音声ガイド製作ボランティアのスキルアップのために、製作過程において必要な指導を行う。
- (4) 訓練事業の取り組み
- ① 2020年度からの訓練継続者を含め、50名に歩行、生活、コミュニケーションなどの各種訓練を520回行う。
 - ② 訪問指導や来所指導といった短期間での訓練指導、用具の操作指導などを延べ430回実施する。
 - ③ 最新機器、メイク方法などの情報ニーズに応えるため、セミナー・展示会等を開催する。
- (5) 視覚障害者用具の展示と斡旋
- ① 視覚障害者のための日常生活用具と便利グッズの主なもの、最新機器などを展示し、斡旋販売を行う。また、補装具・日常生活用具の制度や申請の方法を積極的に周知していく。
 - ② 訓練担当と連携を密にし、訓練生にこれらの用具を紹介することでQOL(生活の質)の向上を図っていく。また、合わせて図書の利用にも繋げていく。
- (6) ボランティアとの連携・協力
- ① 点字・録音図書・テキストデイジー、音声ガイドをボランティアの協力を得て、製作する。
 - ② 音訳養成講座をボランティアと連携し、開催する。
 - ③ センターまつりをオブリガード(川崎市視覚障害者ボランティア連絡会)、川崎市視覚障害者福祉協会と協働し、運営を行う。
- (7) 啓発普及について
- ① 偶数月発行の新刊情報誌「ぶっくがいで」に加え、メールマガジン(2回/月)、ホームページで最新の情報をいち早く伝えるなど、広報活動に積極的に取り組んでいく。
 - ② 事業報告会を開催し、センターの事業を各区の高齢・障害担当に広める。
 - ③ 小中学校から依頼のある視覚障害の啓発に関する授業には、可能な限り講師を派遣する。
 - ④ 地域の眼科医と連携し、見えづらくなった方がセンターと早期につながるができるよう連携を深めていく。また、市内の障害者相談支援センターなどを訪問し、センターのサービスを伝えていく。
- (8) 読書バリアフリー法施行に伴い、視覚障害者等が公共図書館を円滑に利用できるよう障害者サービスが推進されることが予想される。公共図書館のそのような動きには積極的に協力し、利用に関する情報提供を行う。
- (9) 文化的事業を開催する。

- ① 毎回多数の来場者のある音声ガイド付きDVD映画体験上映会（毎月開催）を土曜以外の平日にも数回開催し、より多くの視覚障害者が映画を楽しめるようにする。
- ② 図書の貸出利用者同士の交流を兼ねて、一つの本を読み感想を述べあう読書会を年2回開催する。
- ③ ヨガの教室は希望者が多いので、通常クラスとレベルアップクラスの2クラスを用意し、2月、8月を除いて毎月開催する。
- ④ 「れきおんクラブ」（奇数月開催）、音楽コンサート・落語などのイベントを開催する。

(9) 感染予防・防災・減災対策の推進

- ① 川崎市のガイドラインに準拠した感染予防対策を実施し、利用者が安心して来所できるようにする。また、人が集まるセミナーやイベントを開催する際は、特に注意を払う。
- ② 発災時にセンター内にいる利用者、支援者、職員の安全、安心を確保するため、定期的に防災訓練を行う。
- ③ 川崎区近隣の避難場所や給水地点の確認、川崎区の災害情報などを入手し、平時から災害に備える。
- ④ 感染予防、災害に備えマスク、飲料水、食料などを計画的に備蓄する。

参 考

2021 年度(計画)

(1) 資料の閲覧・貸出

①	利用登録者数	480 名
	(内 新規登録者数)	20 名
②	利用登録団体	300 施設
③	点字図書の蔵書数および貸出・提供	
	蔵書数 (タイトル)	3,100 タイトル
	(冊数)	11,300 冊
	蔵書数の変化 (新収書)	70 タイトル
		250 冊
	貸出数 点字図書	300 タイトル
		900 冊
	(内 他館借受)	(50 タイトル)
		(100 冊)
	点字雑誌	250 タイトル
④	録音図書の蔵書数および貸出・提供	
	(ア) 蔵書数 (タイトル)	6,200 タイトル
	(枚数)	6,200 枚
	(イ) 蔵書数の変化 (新収書)	300 タイトル
		300 枚
	(ウ) 貸出数	
	● カセットテープ	20 タイトル

	80 巻
● CD図書 (内 他館借受)	9,400 タイトル (5,700 タイトル)
● シネマ・デイジー (含む 音声ガイド)	500 タイトル
● CD雑誌	4,300 タイトル
(エ) デイジー図書コンテンツダウンロード提供	
● メモリーメディア	3,000 タイトル
(オ) 点字データコンテンツダウンロード提供	
● メモリーメディア	10 タイトル
⑤ レファレンスサービス情報提供件数	90 件
(2) 資料製作	
① 点字図書の製作数	
(ア) 委託製作数	25 タイトル 125 冊
(イ) 委託外製作数	15 タイトル 75 冊
(ウ) プライベートサービス	35 タイトル
②録音図書の製作数	
(ア) 委託製作数	80 タイトル
音訳 デイジー編集	110 タイトル
(イ) 委託外製作数	20 タイトル
(ウ) プライベートサービス	10 タイトル
③ テキストデイジー図書の製作数	10 タイトル
④ シネマ・デイジー・音声ガイドの製作数	
(ア) 委託製作数	15 タイトル
(イ) 委託外製作数	15 タイトル
(3) ボランティア等の養成	
① 音訳ボランティア養成講座	
開催回数	11 回
② 音訳ボランティア連絡会	
開催回数	2 回
③ 点訳ボランティアスキルアップ研修会	
開催回数	2 回

④ 点訳ボランティア相談会	開催回数	2回
(4) 訓練事業の取り組み		
① 訓練者数		50名
	(内 新規訓練者数)	15名
	訓練回数	520回
	内訳 (複数提供あり)	
	歩行訓練	25名・・・300回
	パソコン訓練	12名・・・100回
	ICT訓練	6名・・・50回
	点字訓練	3名・・・50回
	生活訓練	4名・・・20回
② 相談者数		150名
	相談回数	430回
	内訳 (複数提供あり)	
	歩行相談	50名・・・130回
	パソコン相談	25名・・・100回
	ICT相談	15名・・・60回
	生活相談	60名・・・140回
③ 訓練生交流会	開催数	6回
④ 訓練生屋外交流会	開催数	1回
⑤ 用具の展示と斡旋	展示点数	350点
	斡旋点数	1,400点
(5) 啓発普及		
① 事業報告会の開催		
	訓練事業説明会	7月 1回
② イベントの開催		
● 音声ガイド付きDVD映画体験上映会	毎月開催	12回
● 音声ガイド付きDVD映画体験会	平日映画会の開催	6回
● 歴史的音源を聴く会「れきおんクラブ」	奇数月開催	6回
● チャレンジド・ヨガ教室	2月、8月を除き毎月開催	10回
● ヨガ教室レベルアップクラス	2月、8月を除き毎月開催	10回
● 音楽コンサート等のイベント	5月、2月	2回
● 読書会	6月、1月	2回
● 川崎アイ eye センターまつり	12月	1回

③ 広報誌の発行

- ぶっくがいど(偶数月)

6回

- メールマガジン「アイ eye」(2回/月)

24回